

第2学年 自立活動 学習指導案（略案）

日 時 令和〇年〇月〇日（〇）
指 導 者 〇〇 〇〇

- 1 単 元 名 『上手に頼むスキルを身に付けよう』
- 2 単 元 目 標
- ・相手に頼み事をするとき、どのような言葉と態度で伝えればよいかを理解することができる。【3（4）、6（2）】
 - ・相手に頼み事をするときのポイントを理解し、様々な場面において実際の友達を想定して、頼み事を伝えることができる。【3（3）、3（4）、6（2）】
- 3 本時について
- （1）本時の目標
- ・想定された場面に対し、頼み事をする相手の名前を具体的に挙げるができる。【3（4）】
 - ・頼み事をするときのポイントを踏まえて、頼む時の言葉を具体的に考えることができる。【6（2）】
 - ・自分で考えた言葉をロールプレイの中で適切に相手に伝えることができる。【3（3）、3（4）、6（2）】

（2）本時の展開（2/2時間）

	学習内容・活動	教師の働きかけ (指導上の留意点・配慮事項)	具体的な評価規準 【観点】(評価方法)
導 入 3 分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動内容を理解し、授業の見通しをもつ。 ・特別支援教室記録カードに日付、曜日、今日の気分等を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容を黒板に板書し、視覚的に確認できるようにする。 ・生徒の顔色や声の調子を観察し、今日の身体の状態を把握する。 	
展 開 ① 10 分	<ul style="list-style-type: none"> ・視線トレーニングを行う。 ・見る力をつけるためのワークシートに取り組む。 (制限時間5分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・視線を動かす際に、首が動いていないか確認をする。 ・取り組む時間を示し、タイマーを用いて残り時間を確認できるようにする。 ・分からない時に、ヒントを求める方法を確認してから始める。 ・ヒントを求められた時は、見る範囲を限定できるようなヒントを与える。 	
展 開 ② 10 分	<ul style="list-style-type: none"> ・1週間の生活を振り返るワークシートに名前を丁寧に書く。 ・1週間の生活を振り返り、「今週うれしかったこと・がんばったこと」「今週嫌だったこと・上手くいかなかったこと」「最近心配していること」の3項目についてそれぞれワークシートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の反省点を思い出させ、今回はどんなことに意識して書くかを発問することで、目標をもって書くことができるようにする。書き終わったあとに、目標に対して0点～100点で自己採点させる。良い所や前回と比べて成長した所等を言語化して具体的に伝えることで、文字を書くことに対する自信と意欲を高める。 ・出来事を思い出せない場合は、思い出するためのメモコーナーを使うように促し、その出来事がどの項目に当てはまるか、対話を通して一緒に考えていく。 ・共感的に話を聞くことで、受け止めてもらえているという安心感を得られるようにする。 ・他者とのトラブルなど、上手くいかなかった出来事が出てきた場合は、起きた出来事を詳しく聞き、どのようにすれば良かったかを考えさせる。本人が思い出さなかった方法について、補足することで、考えが広がるようにする。 	

<p>展開 ③ 22分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回学習した、「上手な頼み方」のポイントを思い出す。 ・4つの場面について、実際の友達の名前を挙げながら、頼む時の言葉を考え、教員相手に実践練習をすることを理解する。 ・場面①の内容を把握し、頼み事をする友達の名前を挙げる。 ・頼む時の言葉を考えてワークシートに記入する。 ・生徒役のTに対して考えた言葉を基に頼み事をお願いする。 ・やってみた感想を言う。 ・場面②～④も同様に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイント3点を押さえる。 <ul style="list-style-type: none"> ①理由・頼み事をはっきり伝える。 ②話す時は適度な距離（腕2本分）で話す。 ③頼み事を聞いてくれた相手にお礼を言う。 ・ポイントを紙に書き、視覚的に示す。後の活動でポイントを意識できていない時は、ポイントの紙を提示する。 ・友達を思い出せるよう、生徒写真を用意して、提示する。 ・「頼む理由が含まれているか、頼みたい内容が相手に伝わるか」を本人に確認させる。十分でない場合は、その言葉だと相手がどのように受け取るかを伝える。 ・実際の生徒になりきって話すようにする。 ・Sの言葉がTにどのように伝わってきたかを言語化して伝えるようにする。良かったところ、改善点を具体的に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A：友達の名前を挙げて、なぜその人を選んだのか、自分なりに理由を言うことができる。B：友達の名前を挙げることができる。 【3（4）】 ・A：理由・頼み事が相手に伝わるような言葉を考えている。適切な言葉遣いで表現している。 ・B：相手をお願いする言葉を自分なりに考えている。 【6（2）】 ・A：表情や声の大きさ、相手との身体的距離感を意識して、適切な内容と言葉遣いで相手に伝えることができる。 ・B：適切な内容と言葉遣いで相手に伝えることができる。 【3（3）、3（4）、6（2）】
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「上手にお願いするスキル」を学んだ感想をワークシートに記入し、発表する。 ・スキル一覧表の「上手にお願いするスキル」欄にシールを貼る。 ・次回の通室日時を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の活動で良かった点と課題点を言語化して具体的に伝える。良かったところを賞賛することで、自信を高められるようにする。 	